なお、公告案件への応札もしくは応募又は契約の締結をもって所要の情報の提供及び情報の公表に同意したものとみなす。

ア　公表の対象となる契約先　次の何れにも該当する契約先

(ｱ)　当基金において役員を経験した者が再就職している法人、又は当基金において課長相当職以上の職位を経験した者が役員等として再就職している法人

(ｲ)　当基金との年間取引高が、総売上高又は事業収入の３分の１以上を占めている法人。

イ　公表する情報

(ｱ)　法人の名称

(ｲ)　法人の事業概要

(ｳ)　当該在職者の法人における役職

(ｴ)　当該在職者の当基金における最終役職

(ｵ)　直近の会計年度における取引高

(ｶ)　法人の総売上高又は事業収入において当基金との取引高の占める割合が「３分の１以上２分の１未満、２分の１以上３分の２未満、３分の２以上」の何れに該当するか

ウ　提供していただく情報

(ｱ)　契約締結日に在職している当基金在職経験者に係る情報（人数、現在の職名及び当基金における最終職名）

(ｲ)　契約締結日の直近の財務諸表（総売上高又は事業収入の記載があるもの）

エ　公表日　契約締結日の翌日から起算して72日以内

6　Summary

(1)　Official in charge of contracts: Tomoyuki Sakurai, Executive Vice President, The Japan Foundation

(2)　Nature and quantity of the products: Administrative support in Japanese Language specialist dispatch program and "NIHONGO Partners" program.

(3)　Term of contract: April 1, 2016～March 31, 2017

(4)　Qualifications for participating in the tendering procedures:　Suppliers eligible for participating in the proposed tender are those who shall:

①　have Grade A, B, C or D classification in offering services in terms of the qualification for participating in tenders required by the Japan Foundation in fiscal 2015;

②　not come under Articles 16 and 18 of the Japan Foundation's Rules for the operation of Accounting;

③　not currently be under suspension of nomination by the Japan Foundation;

④　be able to reliably fulfill the terms of the contract with the Japan Foundation and who have no record of default, delay or other breach of promise over the past year;

⑤　other requirements for participating in this tender refer to Tender explanation

(5)　Time limit of tender: 14: 00 February 10, 2016 at the Japan Foundation Tokyo Headquarters

(6)　Contact point for the notice: Japanese Language Department, The Japan Foundation, 4—4—1 Yotsuya, Shinjuku-ku, Tokyo 160－0004, Japan, TEL　03－5369－6066, FAX 03—5369—6040,
E-mail nihongo_haken@jpf.go.jp

独立行政法人都市再生機構公告

独立行政法人都市再生機構首都圏ニュータウン本部公告第８号

平成14年２月５日都市基盤整備公団千葉地域支社公告第11号で公告した、公共下水道工事が完了したので、次のとおり独立行政法人都市再生機構法（平成15年法律第100号）第18条第５項の規定に基づき公告する。

平成27年11月４日

独立行政法人都市再生機構
首都圏ニュータウン本部
つくば・千葉常磐担当推進役　支倉　　紳

1　特定公共施設の種類及び名称
江戸川左岸及び手賀沼流域関連公共下水道

2　工事の区域　千葉県流山市市野谷字入台、字後山、字宮尻、字二反田、字牛飼沢、字牛飼、字三嶋、字向山及び字立野、東初石六丁目、西初石五丁目、西初石六丁目、美田、東初石五丁目、十太夫、駒木字駒木橋上、字中橋上、字中溜上及び字堂台の各一部の区域

3　工事の種類　下水道工事

4　工事の完了の日　平成27年11月４日

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構平成26事業年度財務諸表に関する公告

独立行政法人通則法第38条第３項の規定に基づき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構の平成26事業年度決算に係る財務諸表について公告します。主要な財務諸表のみを記載しておりますので、詳細をご覧になりたい方は当機構のホームページ（http://www.jogmec.go.jp）又は事務所にて閲覧下さい。

平成27年11月４日

東京都港区虎ノ門二丁目10番１号
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構
理事長　河野　博文

貸　借　対　照　表

（平成27年３月31日）

（単位：円）

資産の部			
Ⅰ　流動資産			
現金及び預金		136,843,305,262	
有価証券		23,508,888,781	
売掛金		11,245,429,974	
たな卸資産		16,537,781,705	
前渡金		842,510,540	
仮払金		50,000	
前払費用		7,159,853	
未収収益		353,976,275	
短期貸付金		5,506,150,122	
関係法人貸付金		112,020,000	
民間備蓄融資事業貸付金		805,841,200,000	
未収入金		6,361,330,144	
流動資産合計			1,007,159,802,656
Ⅱ　固定資産			
１．有形固定資産			
建物	7,397,004,986		
減価償却累計額	2,524,237,844	4,872,767,142	
構築物	402,251,910		
減価償却累計額	261,399,905	140,852,005	
機械装置	10,645,330,885		
減価償却累計額	6,123,190,122	4,522,140,763	
船舶	19,312,310,249		
減価償却累計額	4,204,897,903	15,107,412,346	